

大正五年四月六日第三種郵便物認可大正十四年三月二十五日印刷納本(毎月一回一日發行)

哲 學 研 究

第十卷第四册

第九百號

大正十四年四月一日發行

現代に於ける教育學の基礎付け

文學士 長田新

フキヒテの知識學に關する一考察

文學士 河瀬憲次

直觀知と物自體

文學博士 田邊元

講義題目、其他



京都市立大學文學部

京都市立大學會

前 號 目 次

卒業論文題目、其他……………	形態性論 <small>(フオン・エーレンフェルズ)</small> …………… <small>文學士 岩井勝二郎</small>	教育方法の原理…………… <small>文學士 伊藤猷典</small>
	時の原始的樣態に就て…………… <small>文學士 務臺理作</small>	

會 告

- 一、本會へ入會希望者ハ京都市西洞院七條南内外出版株式會社内京都哲學會宛テニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)御納付ノ上御申込被下度候
- 一、會員ニシテ轉居入退會等(編輯事務以外ノ一切)ノ事務ハ内外出版株式會社内京都哲學會へ御通知被下度候
- 一、會費ハ振替口座大阪基〇六六三番、内外出版株式會社内京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
- 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介ノ新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學
文學部内 京都哲學會

註 文 規 定

- ◎ 會員にあらざる購讀者の御註文及び廣告に關する件は内外出版株式會社へ御申込下され度候
- ◎ 本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候
- ◎ 振替貯金にて御送金 (振替大阪三三九三五番三三三一 一 番東京三三九三一 番)内外出版株式會社宛に願上候
- ◎ 前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すへきに付直に御拂込下され度候
- ◎ 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候

定 價

冊	數	定	價	郵	稅
一冊	金四拾錢	一	金壹		
六冊	金貳圓四拾錢	一	金壹		
十二冊	金四圓八拾錢	一	金壹		
		前金	金貳圓四拾錢	不	受
		前金	金四圓八拾錢	不	受

廣 告 料

一頁 金參拾圓 半頁ハ取扱不申

大正十四年三月廿五日印刷納本
大正十四年四月一日發行

第百九號 第十卷
京都帝國大學文學部内

編輯者 京都哲學會

右代表者 伊藤猷典

發行者 大谷仁兵衛

印刷者 須磨勘兵衛

印刷所 内外出版株式會社印刷部
京都市西洞院通七條南入

發 行 所

京都市下京區西洞院七條南
内外出版株式會社

振替口座 大阪三三九三五番
東京三三九三一 番

本社 京都市下京區西洞院通七條南
出張所 京都市京橋區加賀町十番地
販賣所 京都市神田區錦町一ノ一
内外出版株式會社

(東京) 東京堂 東海堂 北隆館

(大阪) 上田屋 至誠堂

賣捌所 (大坂) 盛文館 三文社

(神戸) 寶文館 川瀬書店

(京都) 共盛社 大盛社

不許複製
禁 駢 載

廣島高師教授
文學博士 西 晋一郎 ◆ 須郷侂太郎共譯

最新刊

結婚論

四六判百七十餘頁
ボブリン美裝
定價金壹圓貳拾錢
書留送料金拾八錢

本書は米國コロンビア大學の現教授アドラー博士著「結婚と離婚」の譯であつて、結婚、離婚、結婚の空想及理想の三部よりなる小冊ではあるが、世の所謂此種の著作とは異なり、高遠な哲理と深刻な洞察と現實の人情より、結婚は其當事者相互の目前の幸福以上に普遍的なあるものゝために爲された優れた道徳的仲間であることを論明し、更に離婚が提起される種々なる原因を究め、法律が是認するに否ににかゝらず、離婚が果して許さるべきや否やを解明し、そして最後に結婚の空想と理想に及んで配遇者選擇の動機、夫婦關係獨自の様相、夫婦の責任、親としての義務、特に家庭内に於ける婦人の務、社會的的使命への奉仕、人類の要求への忠實等を論じて居る、故に結婚問題に當面するもの、離婚に苦しむもの、更に子を有つ親、性愛に目醒るもの、夫婦、家庭、夫婦の別居等の眞の意義と價值を知らんとする者に對しては可成有益な何物かを提供するであらう。

(大正五年四月六日)大正十四年三月二十五日印刷 納本
第三種郵便物認可)大正十四年四月一日發行(毎月一回一日發行)

哲學研究 第百九號 定價金四十錢

郵費税

東京 九一ノ一町錦田神市京東 社會式株版出外内 南條七院洞西市都京 番七六七四五 京 東 振 番一三九三阪大 署振 本社